

第5回日本脳ドック学会

*The 5th Annual Meeting of The Japanese Society for
the Detection of Asymptomatic Brain Disease*

プログラム・抄録集



会 長 戸 谷 重 雄
(慶應義塾大学脳神経外科)

1996年 (平成8年) 2月10日 (土)
東京 京王プラザホテル

第5回日本脳ドック学会

プログラム・抄録集

会長 戸谷重雄

会期 平成8年2月10日(土)

会場 京王プラザホテル
5F「エミネンスホール」、4F「錦」
〒160 東京都新宿区西新宿2-2-1
Tel. 03-3344-0111 (大代表)

事務局 慶應義塾大学脳神経外科
〒160 東京都新宿区信濃町35
Tel. 03-3353-1211 内2329
Fax. 03-3354-8053

学会期間中本部 京王プラザホテル 4F「なつめ」
Tel. 03-5381-0366

評議員

朝倉 哲彦
櫻井恒太郎
館野 之男
戸谷 重雄
藤島 正敏
山口 武典

太田 富雄
篠原 幸人
田中 隆一
端 和夫
松本 圭蔵
山田 弘

大友 英一
高倉 公朋
赫 彰郎
早川 徹
丸山 勝一
吉本 高志

小林 祥泰
高橋 睦正
東儀 英夫
福井 仁士
宮坂 和男

幹事

中川 俊男

藤原 悟

(敬称略：五十音順)

ご挨拶

脳ドック研究会も今年は5年目をむかえ、その名称も今年から、日本脳ドック学会となりました。この記念すべき年に第5回日本脳ドック学会を主催させていただきまことは私共にとりまして、まことに光栄と存じます。

昨今、脳ドックの発展普及は目覚ましいものがあり、脳ドックが脳疾患の早期発見と治療あるいは予防に貢献していることは確かなことであると思います。しかしながら実績の積み重ねと同時に、いろいろな解決すべき問題がもちあがってきております。例えば検査機器の精度、発見された異常の解釈あるいは対処に一定の見解が確立されていないことなどがあげられます。従いまして日本脳ドック学会では平成7年10月に、将来の脳ドックのあり方を検討し、脳ドックの社会的意義をさらに向上させるために、端和夫教授を委員長として、会長の諮問機関「脳ドックのあり方委員会」を設置しました。そこで先ず最初に、全国的に脳ドックの現状を把握するため、脳ドックを開設されている先生方にアンケート調査をお願いしましたところ、大勢の方々から回答をいただき感謝致します。この集計結果は本学会に報告させていただきます。

また現在の社会は高齢化に向かって間違いなく歩を進めております。従いましてこの点も含めて視野に入れ、今回の学会のテーマを「脳ドック—高齢化社会への貢献—」といたしました。今回の開催期日が、前回終了後わずか8か月ということから、応募演題も大分減るのではないかと心配いたしました。が、会員の皆様方のご協力によりまして93題のご応募をいただきました。ご応募いただきました演題からシンポジウム形式をもって、現在脳ドックにおきまして最も焦点となっている(1)脳梗塞：危険因子と予防的治療の適応、(2)未破裂脳動脈瘤：自然経過と治療方針、(3)老人性痴呆：脳ドックの果たすべき役割の、3つのシンポジウムを組みました。なお会場は一般演題も含めまして2会場を使用いたします。

特別講演は、本年が5年目の節目に当たりますので、本会の設立に中心的役割を果たされ、第1回会長でもある札幌医科大学脳神経外科端和夫教授に「脳ドックの将来のあり方」と題してご講演をいただくことになっております。

昨年は日本三名泉の一つ下呂温泉におきまして、東京では望むべくもない最高の環境の中で行われました。今回は静寂とは程遠い、また寒い2月の東京において開催させていただくこととなりますが、多くの会員の方々のご参加を、教室員一同、心からお待ち申しあげております。

第5回日本脳ドック学会
会長 戸谷重雄

日 程 表

A会場 (5F エミネンスホール)		座 長	B会場 (4F 錦)		座 長
8:55	開会の辞		9:00		
9:00	未破裂脳動脈瘤 (1) (A-01~07)	松本 圭蔵	9:00	脳ドックの現状とあり方 (B-01~09)	山田 弘
10:00	シンポジウム I 老人性痴呆 脳ドックの果たすべき役割 (SI-01~12)	高倉 公朋 小林 祥泰	10:15 10:25		
11:50			10:15	脳梗塞 (1) (B-10~16)	山口 武典
12:00	サテライトセミナー	中川 俊男 藤原 悟	11:20	未破裂脳動脈瘤 (2) (B-17~21)	早川 徹
13:00	議事総会		12:00		
13:10	脳梗塞 (2) (A-08~12)	藤島 正敏	13:10	未破裂脳動脈瘤 (3) (B-22~26)	福井 仁士
13:50	シンポジウム II 脳 梗 塞 危険因子と予防的治療の適応 (SII-01~12)	赫 彰郎 篠原 幸人	13:50	未破裂脳動脈瘤 (4) (B-27~32)	朝倉 哲彦
15:40			14:40	脳腫瘍・他 (B-33~39)	田中 隆一
15:50	シンポジウム III 未破裂脳動脈瘤 自然経過と治療方針 (SIII-01~08)	太田 富雄 吉本 高志	15:35	画像診断 (1) (B-40~44)	宮坂 和男
17:00	特別講演 端 和夫 「脳ドックの将来のあり方」	戸谷 重雄	16:15	画像診断 (2) (B-45~49)	館野 之男
17:50	アンケート調査報告 シンポジウム座長総括	戸谷 重雄	16:55		
18:15	閉会の辞		18:30	会員懇親会	
18:20					

参会者の皆様へ

1. 会場

- A会場 エミネンスホール（5F）：一般口演、シンポジウム、特別講演、サテライトセミナー
- B会場 錦（4F）：一般口演

2. 参会受付

- 1) 受付時間：平成8年2月10日（土）午前8時から
- 2) 受付場所：A会場（5Fエミネンスホール）前 総合受付
- 3) 参会費：10,000円
* プログラム綴じ込みの参会者カードに氏名所属をご記入の上、受付にご提出下さい。
- 4) 日本脳神経外科学会専門医の皆様へ：本会は、日本脳神経外科学会生涯教育クレジットの対象となっておりますので、脳神経外科専門医の方は参会者カードに専門医番号をご記入下さい。
- 5) 日本脳ドック学会未入会の方へ：新入会員受付にて所定の手続きをお取りください。

3. プログラム・抄録集

各自ご持参下さい。学会当日、ご希望の方には一部1,000円で販売しますが、数に限りがありますのでご了承下さい。

4. 昼食案内

A、B会場にて、お弁当を御用意いたします。（無料）

5. 会員懇親会

学会終了後、B会場（4F、錦）にて会員懇親会を行います。ふるってご参加ください。（参加無料）

6. 参会者の呼出など

総合受付にて承ります。

演者の皆様へ

1. 発表時間

発表時間は、一般口演、シンポジウム、ともに6分です。時間厳守をお願いします。
討論は座長の指示に従ってください。

2. スライド

35mm スライドプロジェクターを2台用意致します。

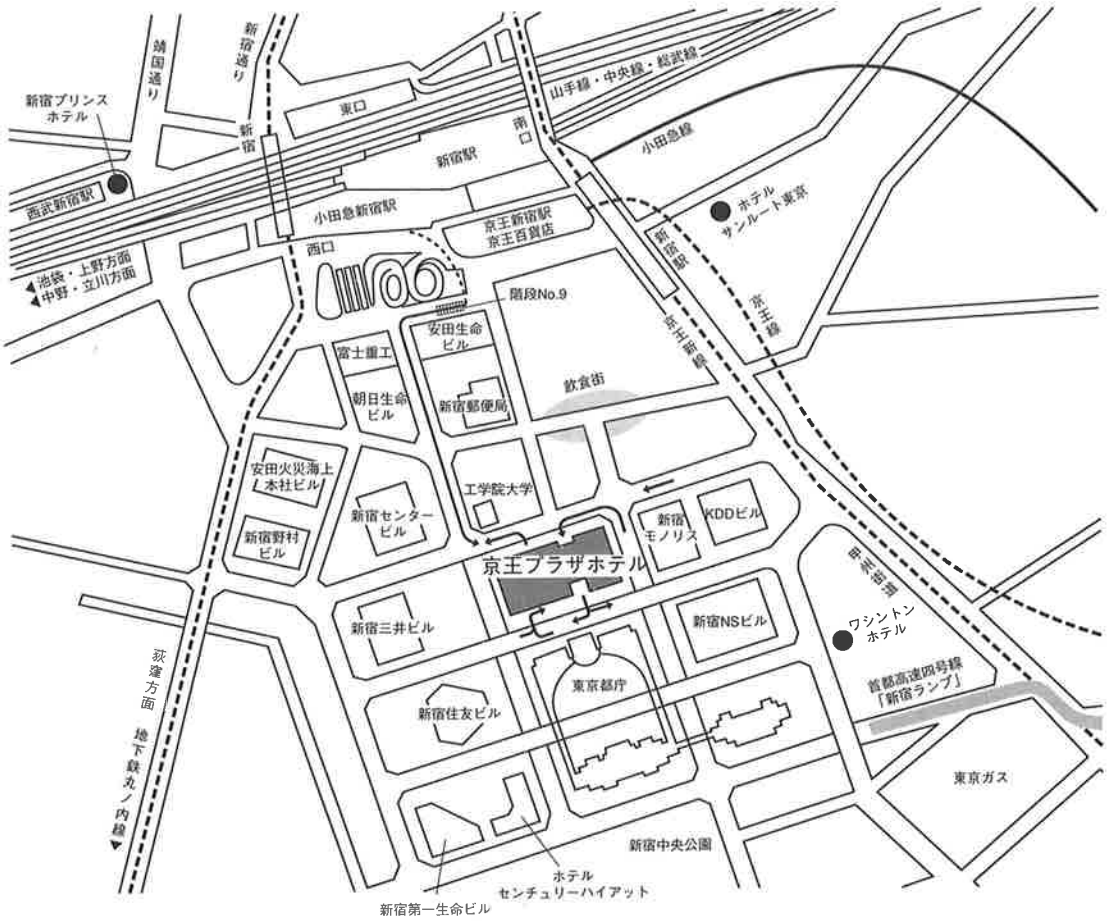
演者は、発表の1時間前までに各会場スライド受付にスライドを提出してください。
映写機はカルーセルタイプですので、スライドはプラスチックマウントに限らせていただきます。

スライドは講演終了後速やかに受領書と引き換えにお受け取りください。

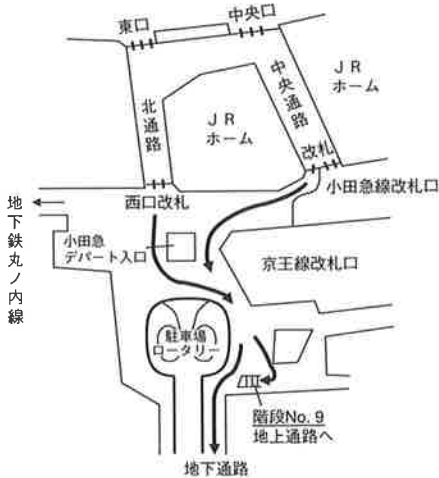
3. その他

演者は前演者の登壇と同時に、次演者席に御着席下さい
質疑、コメントをされる方は、マイクの前でお待ちください。

会場周辺図



J R 新宿駅西口地下広場案内図



新宿駅への交通

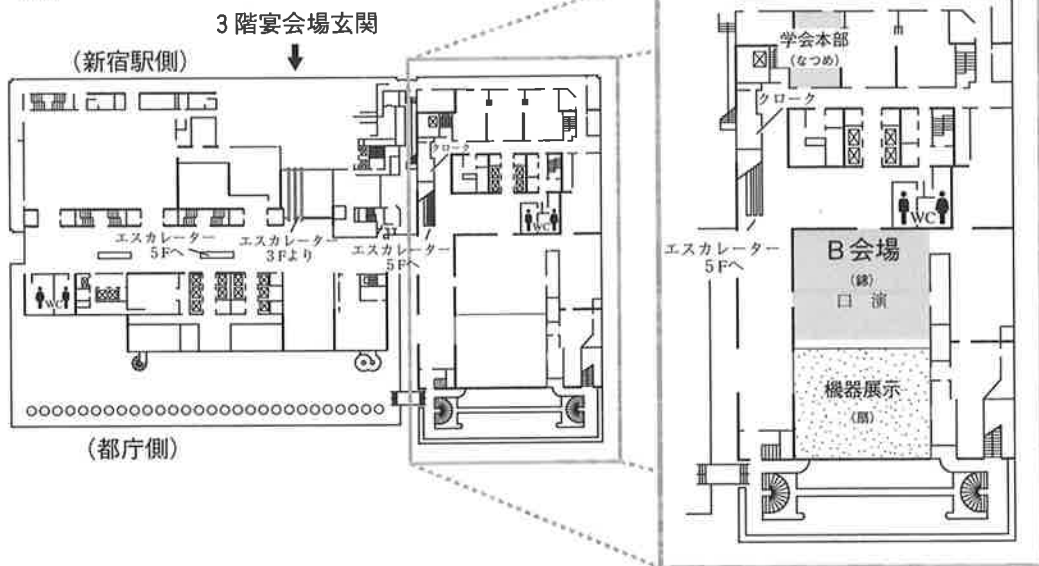
- 東京駅より J R 中央線 17分
- 羽田空港よりモノレール 20分、
浜松町乗換え J R 山手線 25分

京王プラザホテルへ

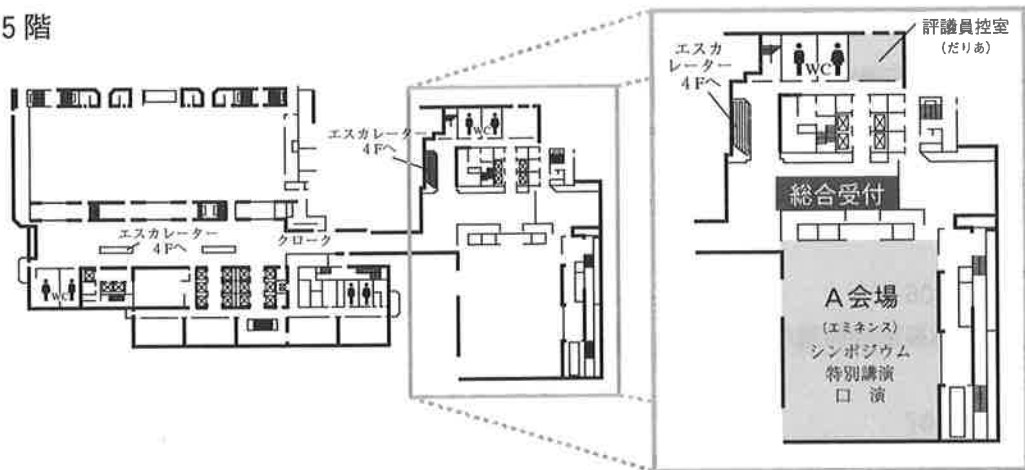
- J R 新宿駅西口より徒歩 8分
地上通路と地下通路があります。
雨天時は地下通路を御利用下さい。
- 東京駅よりタクシー 20~30分
浜松町駅よりタクシー 30分

会場案内

4階



5階



京王プラザホテル

A会場：5F エミネンスホール

B会場：4F 錦

学会本部：4F なつめ

評議員控室：5F だりあ

A 会場

8:55 ~ 9:00

開会の辞

会長 戸谷 重雄

A 会場

9:00 ~ 9:55

未破裂脳動脈瘤 (1)

座長 松本 圭蔵

■ A-01

未破裂脳動脈瘤のスクリーニング検査の意義と治療方針

城山病院 脳神経外科 木村 直祐

■ A-02

未破裂脳動脈瘤手術の検討

一ノ宮脳神経外科 吉武 靖博

■ A-03

未破裂脳動脈瘤の治療方針について

那須脳神経外科病院 内田 幹人

■ A-04

未破裂脳動脈瘤の治療

社会保険広島市民病院 脳神経外科 西野 繁樹

■ A-05

未破裂脳動脈瘤の治療方針

杏林大学 脳神経外科 塩川 芳昭

■ A-06

未破裂脳動脈瘤の治療方針 (256 例の分析)

北海道大学 脳神経外科 宝金 清博

■ A-07

発見された無症候性未破裂脳動脈瘤の手術適応に関する諸因子の検討

新さっぽろ脳神経外科病院 中川 俊男

老人性痴呆：脳ドックの果たすべき役割

座長 高倉 公朋, 小林 祥泰

- SI-01
飲酒歴の脳萎縮に与える影響について
千葉大学 脳神経外科 中崎 将
- SI-02
当院脳ドックにおける痴呆スクリーニング検査について
虎の門病院 脳神経外科 土田 昌一
- SI-03
無症候性脳虚血病変に対する脳ドック —高次脳機能検査、脳循環による
検討—
岩手医科大学 脳神経外科 久保 直彦
- SI-04
脳ドック受診者の神経行動評価
東北厚生年金病院 神経内科 圓谷 建治
- SI-05
脳ドックにおけるメンタルケアの重要性
相模原中央病院 脳神経外科 中野 次郎
- SI-06
血小板機能亢進と Leukoaraiosis
兵庫県立姫路循環器病センター 脳神経外科 藤田 稔清
- SI-07
脳ドック受診者における潜在性脳病変と認知機能
島根医科大学 第3内科 小林 祥泰
- SI-08
高次脳機能検査の問題点
北村クリニック 北村 純司
- SI-09
早期痴呆症例の中に見出される器質的疾患について
浜松医療センター 脳神経外科 中山 禎司
- SI-10
脳ドックを契機に発見された痴呆性疾患 —その follow up と治療効果
(第2報) —
津生協病院 脳神経外科 笠間 睦

■ SI-11

脳ドックにみられる白質病変と大脳高次機能との関連

—痴呆の早期発見と予防のために—

大分医科大学 脳神経外科 下村 剛

■ SI-12

早期痴呆症例に対する地域の予防、治療対策について

(脳ドックとのネットワーク作り)

浜松医療センター 脳神経外科 金子 満雄

A 会場

12:00 ~ 13:00

サテライトセミナー (機器メーカー)

座長 中川 俊男, 藤原 悟

A 会場

13:00 ~ 13:10

議事総会

A 会場

13:10 ~ 13:50

脳梗塞 (2)

座長 藤島 正敏

■ A-08

無症候性脳梗塞における血小板機能の検討

健康保険鳴門病院 脳神経外科 津田 敏雄

■ A-09

頭蓋内外動脈硬化性変化とその危険因子

—とくに MRA と TCD での特徴—

東松山市立市民病院 脳神経外科 竹内東太郎

■ A-10

無症候性脳梗塞および頭頸部虚血性血管病変について

中国労災病院 脳神経外科 山中 千恵

■ A-11

無症候性脳梗塞症例における脳局所血流量の検討

春日部秀和病院 脳神経外科 中岡 勤

■ A-12

内頸動脈狭窄・閉塞における無症候性脳梗塞の病態

—疫学的検討と PET 所見—

東海大学 神経内科 浜野 均

脳梗塞：危険因子と予防的治療の適応

座長 赫 彰郎, 篠原 幸人

■ SⅡ-01

脳梗塞の危険因子と治療 —特に高血圧と喫煙の影響に注目して—

千葉大学 脳神経外科 久保田基夫

■ SⅡ-02

脳梗塞予防における脳ドックの役割：危険因子の解析と対策

潤和会記念病院 脳神経外科 中野 真一

■ SⅡ-03

脳ドック受診者にて発見された無症候性脳梗塞の危険因子について

景翠会金沢病院 脳神経外科 鈴木 伸一

■ SⅡ-04

無症候性脳梗塞と症候性脳梗塞における危険因子の検討

—高血圧と糖尿病の意義について—

成田記念病院 神経内科 川畑 信也

■ SⅡ-05

脳ドック受診者の追跡調査からみた脳梗塞の危険因子

景翠会金沢病院 脳神経外科 小嶋 康弘

■ SⅡ-06

潜在性脳梗塞の経年変化 —第2報—

島根医科大学 第三内科 岡田 和悟

■ SⅡ-07

無症候性脳梗塞を含めた MRI 画像の経時的変化の検討

平成記念病院 Brain Medical Check Up Center 平井 達夫

■ SⅡ-08

脳ドックの再検査時期に関する考察 —血管写追跡例からの検討—

富山医科薬科大学 脳神経外科 長堀 毅

■ SⅡ-09

超音波変位法に基づく脳梗塞患者の予防的治療の適応と管理

東邦大学 脳神経外科 山下 晃平

■ SⅡ-10

脳梗塞の危険因子とその予防的対策 —当院脳ドックの分析から

北日本脳神経外科病院 脳神経外科 今野 公和

■ SII-11

MRI T2 異常高信号域を有する脳ドック受診者の追跡調査

慶應義塾大学 脳神経外科 堀口 崇

■ SII-12

内頸動脈狭窄が発見され手術待機中に生じた脳梗塞

山田胃腸科外科医院総合検診センター 山田 静雄

A 会場 シンポジウムⅢ

15:50 ~ 17:00

未破裂脳動脈瘤：自然経過と治療方針

座長 太田 富雄, 吉本 高志

■ SIII-01

MRA で発見された未破裂無症候性囊状脳動脈瘤の手術例・非手術例の予後

磯部クリニック 磯部 逸夫

■ SIII-02

未破裂脳動脈瘤の治療方針

—手術例の臨床的検討および未処置例の自然経過—

松山市民病院 脳神経外科 須賀 正和

■ SIII-03

未破裂脳動脈瘤の自然経過と治療の問題点

県立広島病院 脳神経外科 井川 房夫

■ SIII-04

未破裂脳動脈瘤非手術例の経過について

阪和記念病院 脳神経外科 松本 勝美

■ SIII-05

未破裂囊状脳動脈瘤の治療方針 —自然経過と手術成績からの検討—

千葉大学 脳神経外科 小野 純一

■ SIII-06

脳血管障害以外で発見された未破裂脳動脈瘤の自然経過

秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科 安井 信之

■ SIII-07

未破裂脳動脈瘤の治療方針 —手術成績と非手術例の予後調査から—

広南病院 脳神経外科 長嶺 義秀

■ SIII-08

未破裂脳動脈瘤の自然歴 —長期予後の分析による危険因子の抽出—

岡山大学 脳神経外科 浅利 正二

A 会場 特別講演

17:00 ~ 17:50

「脳ドックの将来のあり方」

端 和夫

札幌医科大学 脳神経外科

座長 戸谷 重雄

A 会場

17:50 ~ 18:15

アンケート調査報告、シンポジウム座長総括

戸谷 重雄

A 会場

18:15 ~ 18:20

閉会の辞

会長 戸谷 重雄

脳ドックの現状とあり方

座長 山田 弘

■ B-01

脳検診受診者の背景因子について

小牧市民病院 脳神経外科 雄山 博文

■ B-02

脳ドック受診者の意識 —アンケート調査を元に—

番町診療所 山田 正文

■ B-03

未破裂脳動脈瘤のスクリーニングの有効性と効用値の影響に関する研究

東京大学附属病院中央医療情報部 伊野宮興志

■ B-04

健康管理の一環とした MRI による脳検診の有用性

自衛隊佐世保病院 脳神経外科 柳川 洋一

■ B-05

人間ドック受診者のみを対象とした脳ドックの特徴

虎の門病院 脳神経外科 梅津 博道

■ B-06

郊外型脳ドック 2 年間の現況

東京天使病院附属クリニック 玉谷 青史

■ B-07

地域予防保健医療を主軸に据えた脳ドックの実践

北斗病院 脳神経外科 佐土根 朗

■ B-08

高齢者脳ドックの結果から

黒沢病院 脳神経外科 岡田 慶一

■ B-09

超高齢化社会にむけての脳ドックの意義とあり方

新さっぽろ脳神経外科病院 中川 俊男

脳梗塞 (1)

座長 山口 武典

■ B-10

脳ドック症例における無症候性脳虚血性病変の出現と諸危険因子の関連

—特に喫煙歴に注目して—

アスクレピオス・横浜国際クリニック 脳神経外科 小滝 浩平

■ B-11

無症候性脳梗塞の危険因子についての検討

阿南共栄病院 脳神経外科 大島 勉

■ B-12

脳ドックにおける白質病変に対する危険因子の検討

社会保険広島市民病院 脳神経外科 西野 繁樹

■ B-13

脳ドック受検者の MRI、MRA 像とリスクファクターの検討

京都南病院健康管理センター 住岡 秀史

■ B-14

脳ドックにおける無症候性脳梗塞発見率 高血圧、高脂血症、糖尿病、高尿酸血症のない場合 —喫煙、肥満との関係—

社会保険下関厚生病院健康管理センター 大田 純夫

■ B-15

脳ドックにおける脳室周囲白質病変発現率について

日本医科大学 第二内科 高橋真理子

■ B-16

無症候の脳ドック受診者における脳 MRI/T2 強調画像高信号所見の検討

—加齢、高血圧との関係

東芝林間病院健康管理センター 宮城 隆

未破裂脳動脈瘤 (2)

座長 早川 徹

■ B-17

Incidental aneurysm に対する手術成績の検討

山梨医科大学 脳神経外科 杉田 正夫

■ B-18

未破裂脳動脈瘤の手術成績

久留米大学 脳神経外科 島本 宝哲

■ B-19

未破裂脳動脈瘤の治療成績と悪化因子

国立循環器病センター 脳血管外科 鈴木 進

■ B-20

未破裂脳動脈瘤の手術成績と転帰よりみた治療方針

北斗病院 脳神経外科 井出 渉

■ B-21

高齢者未破裂脳動脈瘤の手術適応

横浜新都市脳神経外科病院 脳神経外科 谷井 雅人

未破裂脳動脈瘤 (3)

座長 福井 仁士

■ B-22

術中所見より破裂動脈瘤と考えられた無症候性脳動脈瘤の1例(脳ドック発見例)

福山脳研大田記念病院 脳神経外科 佐藤 昇樹

■ B-23

未破裂脳動脈瘤の MRA と術中所見の検討

福井県立病院 脳神経外科 柏原 謙悟

■ B-24

未破裂脳動脈瘤手術例の検討 —術中所見を中心に—

呉共済病院 脳神経外科 正岡 哲也

■ B-25

術中所見よりみた未破裂脳動脈瘤の成長過程に関する検討

岡山大学 脳神経外科 浅利 正二

■ B-26

手術所見から見た未破裂脳動脈瘤の分類 —手術適応に関連して—

広南病院 脳神経外科 長嶺 義秀

B 会場

13:50 ~ 14:40

未破裂脳動脈瘤 (4)

座長 朝倉 哲彦

■ B-27

脳ドックで発見された未破裂脳動脈瘤の追跡調査

山中湖クリニック画像診断センター 高木 繁治

■ B-28

脳ドックで発見された未破裂・無症候性脳動脈瘤治療における問題点

—術後神経脱落症状の出現をみた一例の経験から—

中村記念病院 脳神経外科 武田利兵衛

■ B-29

未破裂脳動脈瘤に対する Small hair cut 及び Minimum craniotomy

函館赤十字病院 脳神経外科 松崎 隆幸

■ B-30

未破裂脳動脈瘤に対する key hole supraorbital approach

浅ノ川総合病院脳神経センター 脳神経外科 大西 寛明

■ B-31

脳動脈瘤術後患者におけるチタンクリップの有効性

国立循環器病センター 脳血管外科 戸高 健臣

■ B-32

3D-CT Angiography (3D-CTA) による脳動脈瘤術後症例の Follow-up

鳥取赤十字病院 脳神経外科 金澤 泰久

脳腫瘍・他

座長 田中 隆一

■ B-33

音響学的診断による頭・頸部血管病変の検討

岩手医科大学 脳神経外科 阿部 深雪

■ B-34

脳ドックにおける頭痛の分析

神戸大学 脳神経外科 江原 一雅

■ B-35

頸椎・腰椎異常と身体所見

(財)脳神経疾患研究所附属南東北病院 脳神経外科 小泉 仁一

■ B-36

脳血管障害の危険因子としての血圧管理

十和田市立中央病院 脳神経外科 畑中 光昭

■ B-37

脳ドックと外科的治療：MRにて外科的治療の対象と考えられたものの転帰

岡山旭東病院 脳神経外科 吉岡 純二

■ B-38

偶発傍鞍部腫瘍の診断と治療

広島大学 脳神経外科 右田 圭介

■ B-39

脳ドックで発見された脳腫瘍症例の検討

宇部興産中央病院 脳神経外科 黒川 泰

画像診断 (1)

座長 宮坂 和男

■ B-40

低磁場 MRI における MRA 画像改良の試み

陣の内脳神経外科クリニック 陣内 敬文

■ B-41

MR angiography による脳動脈瘤のスクリーニング

帯広脳神経外科病院 藤重 正人

■ B-42

MR アンギオグラフィーによる Willis 動脈輪の形態：内頸動脈閉塞症における Posterior Circle の重要性

埼玉県立小原循環器病センター 脳神経外科 高室 暁

■ B-43

神経症状のない脳血管奇形とその MRA 像

福井総合病院 脳神経外科 辻 哲朗

■ B-44

脳ドックにおける高速 Fluid Attenuated Inversion Recovery (FLAIR) 法の有用性

日本医科大学付属病院 脳神経外科 池田 幸穂

B 会場

16:15 ~ 16:55

画像診断 (2)

座長 舘野 之男

■ B-45

脳ドックにおける未破裂脳動脈瘤の二次検査としての 3D-CTA の有用性

聖路加国際病院 脳神経外科 石川 陵一

■ B-46

未破裂脳動脈瘤の画像診断における 3D-CTA の役割

聖麗メモリアル病院 脳神経外科 河野 拓司

■ B-47

3D-CT Angiography (3D-CTA) を用いた未破裂脳動脈瘤の診断・治療

とまこまい脳神経外科 上田 幹也

■ B-48

脳動脈瘤に対する MRA、3D-CT Angiography、脳血管撮影の比較検討

姫路中央病院 脳神経外科 杉浦 智之

■ B-49

未破裂脳動脈瘤の診断はこうする

釧路脳神経外科病院 奥山 徹

B 会場

18:30 ~ 20:30

会員懇親会